

山陽小野田都市計画道路の変更（山口県決定）

1 都市計画道路中 3・4・4 新開作二軒屋線ほか 2 路線を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主な 経過地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
幹 線 街 路	3・4・4	新開作二軒屋線	山 陽 小 野 田 市 中 央 一 丁 目	山 陽 小 野 田 市 中 川 五 丁 目	山 陽 小 野 田 市 高 栄 三 丁 目	約1,650m	地表式	2車線	16m	JR小野田線と平面交差1箇所 幹線街路と平面交差4箇所	
	幅員の内訳		16m			約1,160m					
			17m			約490m					
	3・4・36	大久保吉田地線	山 陽 小 野 田 市 大 字 埴 生 字 大 久 保	山 陽 小 野 田 市 大 字 埴 生 字 沖 代	山 陽 小 野 田 市 大 字 埴 生 字 東 下 久 々	約1,080m	地表式	2車線	17m	大道畑西糸根線と立体交差1箇所 JR山陽本線と立体交差1箇所 幹線街路と平面交差1箇所	
	3・6・16	竜王山西線	山 陽 小 野 田 市 赤 崎 三 丁 目	山 陽 小 野 田 市 大 字 小 野 田 字 入 道 石	山 陽 小 野 田 市 大 字 小 野 田 字 大 鼻	約900m	地表式	2車線	11m	幹線街路と平面交差2箇所	

新旧対照表

旧 新	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経 過 地		構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹線街路	3・4・4	新開作二軒屋線	山陽小野田市 中央一丁目	山陽小野田市 中川五丁目	山陽小野田市 高栄三丁目	約1,650m	地表式	2車線	16m	JR小野田線と立体交差1箇所 幹線街路と平面交差6箇所	
		幅員の内訳		16m			約1,160m					
				17m			約490m					
新	幹線街路	3・4・4	新開作二軒屋線	山陽小野田市 中央一丁目	山陽小野田市 中川五丁目	山陽小野田市 高栄三丁目	約1,650m	地表式	2車線	16m	JR小野田線と平面交差1箇所 幹線街路と平面交差4箇所	
		幅員の内訳		16m			約1,160m					
				17m			約490m					
旧	幹線街路	3・4・36	大久保吉田地線	山陽小野田市 大字埴生字大久保	山陽小野田市 大字埴生字道面	山陽小野田市 大字埴生字沖代	約2,050m	地表式	2車線	17m	大道畑西糸根線と立体交差1箇所 JR山陽本線と立体交差1箇所 幹線街路と平面交差1箇所	
新	幹線街路	3・4・36	大久保吉田地線	山陽小野田市 大字埴生字大久保	山陽小野田市 大字埴生字沖代	山陽小野田市 大字埴生字東下久々	約1,080m	地表式	2車線	17m	大道畑西糸根線と立体交差1箇所 JR山陽本線と立体交差1箇所 幹線街路と平面交差1箇所	
旧	幹線街路	3・6・16	竜王山西線	山陽小野田市 赤崎三丁目	山陽小野田市 大字小野田恵	山陽小野田市 大字小野田字西條	約4,010m	地表式		8m		
新		3・6・16	竜王山西線	山陽小野田市 赤崎三丁目	山陽小野田市 大字小野田字入道石	山陽小野田市 大字小野田字大鼻	約900m	地表式	2車線	11m	幹線街路と平面交差2箇所	

理 由

3・4・4 新開作二軒屋線

本路線は、山陽小野田市中央一丁目から山陽小野田市中川五丁目に至る幹線街路であり、昭和14年に都市計画決定され、平成26年に現在の都市計画へと変更されています。

このたび、3・5・6本町小野田港線の廃止に伴い、交差箇所の隅切りについての処理を行う必要が生じました。

このため、道路計画の見直しを行い、平面交差1箇所の構造を変更するものです。

3・4・36 大久保吉田地線

本路線は、山陽小野田市大字埴生字大久保から山陽小野田市大字埴生字道面に至る幹線街路であり、平成6年に都市計画決定され、平成24年に現在の都市計画へと変更されています。

しかしながら、本路線は、都市計画決定から30年以上が経過しているにも関わらず一部区間は未整備となっています。

大字埴生字沖代から終点までの区間については、周辺道路の整備や社会経済状況の変化により、都市計画道路としての将来交通需要が見込めないことから、交通機能を担う道路として本区間を整備する必要性は低下しています。

このため、道路計画の見直しを行い、大字埴生字沖代から終点までの区間を廃止し、終点を変更するものです。

3・6・16 竜王山西線

本路線は、山陽小野田市赤崎三丁目から山陽小野田市大字小野田字二の大須恵に至る幹線街路であり、昭和14年に都市計画決定され、平成24年に現在の都市計画へと変更されています。

しかしながら、本路線は、都市計画決定から80年以上が経過しているにも関わらず一部区間は未整備となっています。

大字小野田字入道石から大字小野田字田の尻までの区間および大字小野田大字二の大須恵の一部区間については、周辺道路の整備や社会経済状況の変化により、都市計画道路としての将来交通需要が見込めないことから、交通機能を担う道路として本路線を整備する必要性は低下しています。

このため、道路計画の見直しを行い、大字小野田字入道石から終点までの区間を廃止し、終点を変更するものです。

併せて、道路の構造形式や車線数等について記載するものです。